

Mother care サービス レポート

マザーケアサービスとは、ご利用者さまのご自宅へ、マザーネットのケアリストがお伺いし、お子さまのケアや家事をさせていただくサービスです。

■ご利用例 vol.42

家事サービスのご利用です。ご在宅時にお伺いしますので、その場でご要望をお聞きし、お料理やお掃除などをさせていただきます。春には庭の桜の花びらのお掃除もさせていただきます。

ご利用者の声 K. Oさん

テレビの映像に目を止めると・・・

外は氷雨。1年前に痛めた足はうずくように痛く。また、原因は謎だが、自律神経失調との悪戦苦闘。心の病は色々な症状が、お手々繋いでやってきて私を苦しめる。薄暗い部屋で、つけ放しのテレビの映像に、ふと目を止めると、すごく健康そうな主婦と思われる人が、手際よく家事を片付けている。が、その方はその家の主婦ではなく、やがて、その家の小学生の子どもを学校へ迎えに行く。そして家庭教師に早変わりする。「え??」と目を凝らす。やがて夕食の支度、手順が良い。「まあ?!」

そこへ、その家の主婦がお勤めから帰ってきてバトンタッチ。働く主婦を援護するマザーネットのマザーケアサービスというシステムなのだと知りました。

藁をもすがる思いで受話器を・・・

パブリックの介護を受けるのには、まだ私の状態では甘えがある、と、自戒があり、然りとて、物理的にも精神的にも自分との闘いに疲れ果てていた私には、目の前に一條の光が見えたようで、藁にもすがる思いで電話の受話器を取っていました。

「今、テレビを拝見いたしました。お宅様の趣旨とは異なるお願いであることは重々承知しておりますが、何とか助けていただけませんか。」と懇願いたしました。電話の向こうからの優しいお声を聞いたときの嬉しかったこと。それはまさしく“愛”でございました。

以来、我が家には主人が大喜びの料理と、ちょっとピンボケの私を受け入れて下さる明るい笑顔のケアリストAさんが、お訪ね下さいます。

昨年、主人は病を得ました。私も妻として責任を自覚し、心の病も追々に良い方に向かっております。本当にありがとうございます。

ございます。感謝の気持ちを込めてペンをとりました。

ケアリストの声 M. Aさん

O様宅をケアリストとして訪問させていただくようになって1年3カ月が過ぎました。

最初に伺った日は、ご夫婦揃って迎えて下さり、お2人とも、とっても優しい上品な方で、安心することができました。

ちょうど私の母と同じ年代で、今では実家に帰るような気持ちで伺わせていただいています。

主に調理をさせていただいています。ご主人にも私の味付けがお口に合ったようで、奥様にご自分で調理されたものを出されたときに、ご主人が「今日はAさんが来てたの?」とおっしゃったとか・・・

これからも、私の限られたレパートリーの中から、喜んで食べていただけるものを作ってお手伝いできたら、うれしいです。



マネージングディレクター 丸岡八千のひとこと

ご利用者O様は、いつも、お電話で、とてもあたたかなお声でお礼を言ってくださいます。今回も、このレポートの原稿をお願いいたしましたところ、快くお受けいただき、このような達筆なお手紙をいただきました。本当にありがとうございます。